

ふくしま YOUTH VOICE 2024 福島会場 実施結果

1 テーマ

「JR福島駅東口の再開発事業を通して、『県都ふくしま』に必要なまちづくりのあり方について考える。」

2 日時

令和6年12月8日（日） 13時00分～17時00分

3 場所

ワークショップ：福島学院大学駅前キャンパス

フィールドワーク：福島駅東口

4 参加者

高校生5名

5 概要

- ①福島市役所市街地整備課及び福島駅東口地区市街地再開発組合の方をお招きし、福島駅前東口再開発事業についてお話を伺った。
- ②福島駅東口を実際に歩いて、駅近くの商業施設の方にインタビューをし、まちの声を聞くフィールドワークを行った。
- ③「東口再開発に関する見直し方針」と実際のまちの声を踏まえて、課題を整理し、福島市がどのようなまちになってほしいか、大人との対話を交えながら検討を行った。

6 参加した高校生の意見や気づき等

- ・人とのつながりが求められているのではないか。
- ・街中にこどもの空間が必要。
- ・時代の変化に対応できる場とする必要がある。
- ・様々な人がまちづくりに関わることができるようにする必要がある。
- ・周りの人とまちづくりについて話をしない、話をしづらい雰囲気がある。
- ・再開発ビルが完成するまでの5年間で、何もしなければ駅前の現状は悲惨なものとなる。にぎわいを創り出す方法を考えなければならない。
- ・再開発事業では、子ども・若者の意見よりも高齢者の意見が尊重されていると感じる。
- ・若者にとって魅力的な店（IKEA、コストコ等）が入らなければ、再開発ビルには誰も行かないと思う。
- ・多方面に手を出すのではなく、資源を音楽ホールなどに集中させるべきではないか。
- ・日本初出店・東北初出店などの「福島にしかない魅力的な店」を誘致する。
- ・店の誘致が難しい場合でも、資源を一点に集中させ、日本有数の音響設備・収容人数を備えたホールを建設する。

